

第2章 調査結果の概要

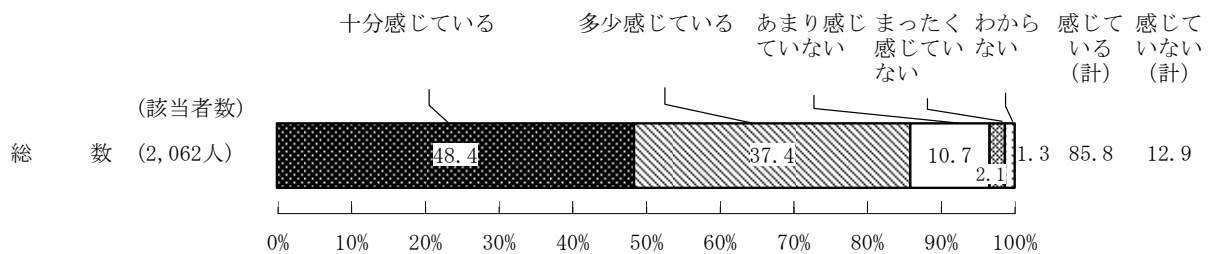
第2章 調査結果の概要

1 基本的な生活

(1) 生きがい(Q1)

現在、どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じているかについてみると、「十分感じている」が48.4%、「多少感じている」が37.4%で、これらを合わせた「感じている（計）」は85.8%と8割以上を占めている。一方、「まったく感じていない」は2.1%、「あまり感じていない」は10.7%とこれらを合わせた「感じていない（計）」は12.9%となっている。

図1-1 生きがい(Q1)



性別にみると、「十分感じている」で女性が半数以上と高くなっている。

家族形態別にみると、「感じている（計）」と答えた者の割合は夫婦二世帯が最も高い（90.1%）が、単身世帯では「感じていない（計）」が2割を超えている。

健康状態別にみると、健康状態が良いほど「十分感じている」の割合が高くなっている。

図1-2 生きがい(家族形態別)(Q1)

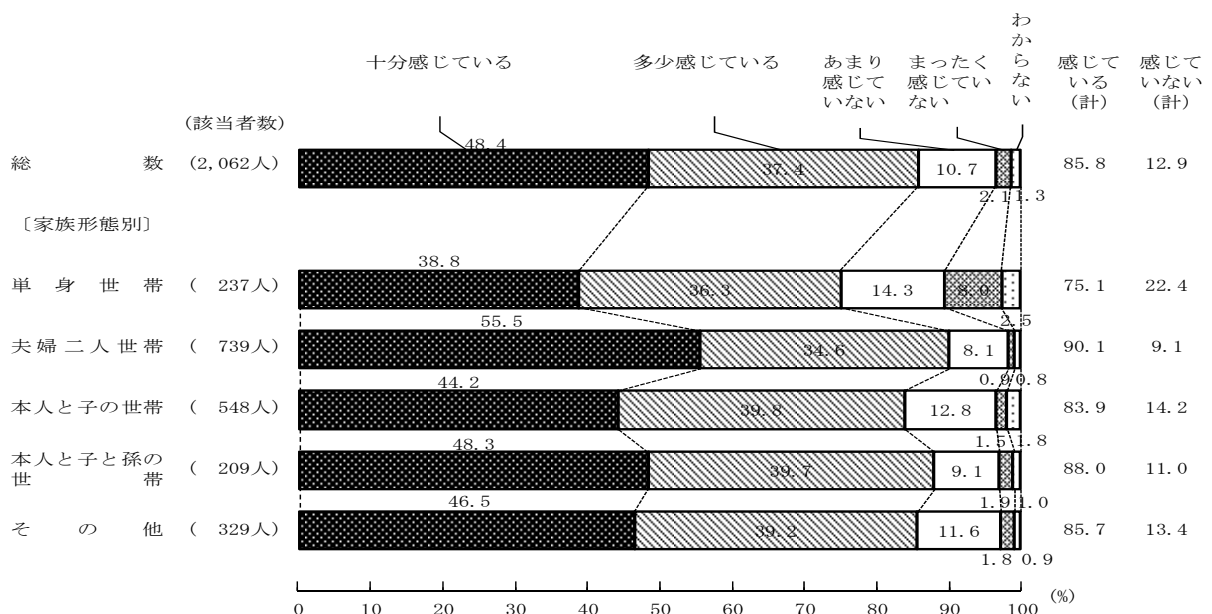


表1-1 生きがい

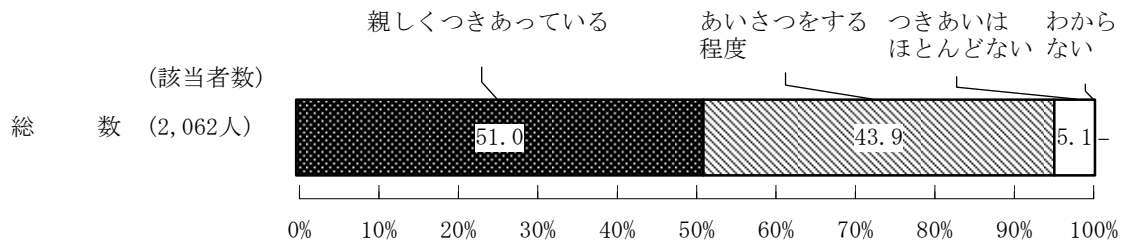
(%)

	総数	十分感じている	多少感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	感じている(計)	感じていない(計)
【総数】	2062	48.4	37.4	10.7	2.1	1.3	85.8	12.9
【都市規模別】								
大都市	472	50.8	35.2	10.2	2.8	1.1	86.0	12.9
中都市	867	47.3	38.5	11.2	1.7	1.3	85.8	12.9
小都市	522	48.7	38.5	10.0	2.1	0.8	87.2	12.1
町村	201	46.8	35.3	11.9	2.5	3.5	82.1	14.4
【性別】								
男性	979	44.6	38.3	13.1	2.5	1.5	82.9	15.5
女性	1083	51.8	36.7	8.6	1.8	1.1	88.5	10.4
【年齢階級別】								
60～64歳	574	49.7	37.6	9.4	2.1	1.2	87.3	11.5
65～69歳	500	53.4	32.4	11.6	1.6	1.0	85.8	13.2
70～74歳	457	48.4	38.1	10.7	1.5	1.3	86.4	12.3
75～79歳	322	43.8	40.7	11.5	1.9	2.2	84.5	13.4
80～84歳	147	42.2	41.5	10.2	4.8	1.4	83.7	15.0
85歳以上	62	35.5	45.2	12.9	6.5	-	80.6	19.4
【家族形態別】								
単身世帯	237	38.8	36.3	14.3	8.0	2.5	75.1	22.4
夫婦二世帯	739	55.5	34.6	8.1	0.9	0.8	90.1	9.1
本人と子の世帯	548	44.2	39.8	12.8	1.5	1.8	83.9	14.2
本人と子と孫の世帯	209	48.3	39.7	9.1	1.9	1.0	88.0	11.0
その他	329	46.5	39.2	11.6	1.8	0.9	85.7	13.4
【健康状態別】								
良い	787	68.4	24.8	5.5	0.8	0.6	93.1	6.2
まあ良い	379	44.3	42.7	9.8	1.8	1.3	87.1	11.6
普通	533	38.1	47.8	10.7	1.7	1.7	85.9	12.4
あまり良くない	293	25.9	42.7	23.5	5.5	2.4	68.6	29.0
良くない	70	18.6	50.0	21.4	8.6	1.4	68.6	30.0
良好(計)	1166	60.5	30.6	6.9	1.1	0.9	91.2	8.0
不良(計)	363	24.5	44.1	23.1	6.1	2.2	68.6	29.2

(2) 近所づきあいの程度 (Q 2)

ふだんの近所の人とのつきあいの程度についてみると、「親しくつきあっている」が51.0%で半数を超え、「あいさつをする程度」は43.9%となっている。「つきあいはほとんどない」は5.1%にとどまっている。

図 1 - 3 近所づきあいの程度 (Q 2)



都市規模別にみると、小都市では「親しくつきあっている」が6割以上を占めており、大都市では「あいさつをする程度」が半数を超えている。

性別にみると、男性で「あいさつをする程度」が48.8%と半数近くを占めている一方で、女性は「親しくつきあっている」が55.7%と過半数である。

家族形態別にみると、単身世帯では「つきあいはほとんどない」が1割を超えている。

図 1 - 4 近所づきあいの程度 (家族形態別) (Q 2)

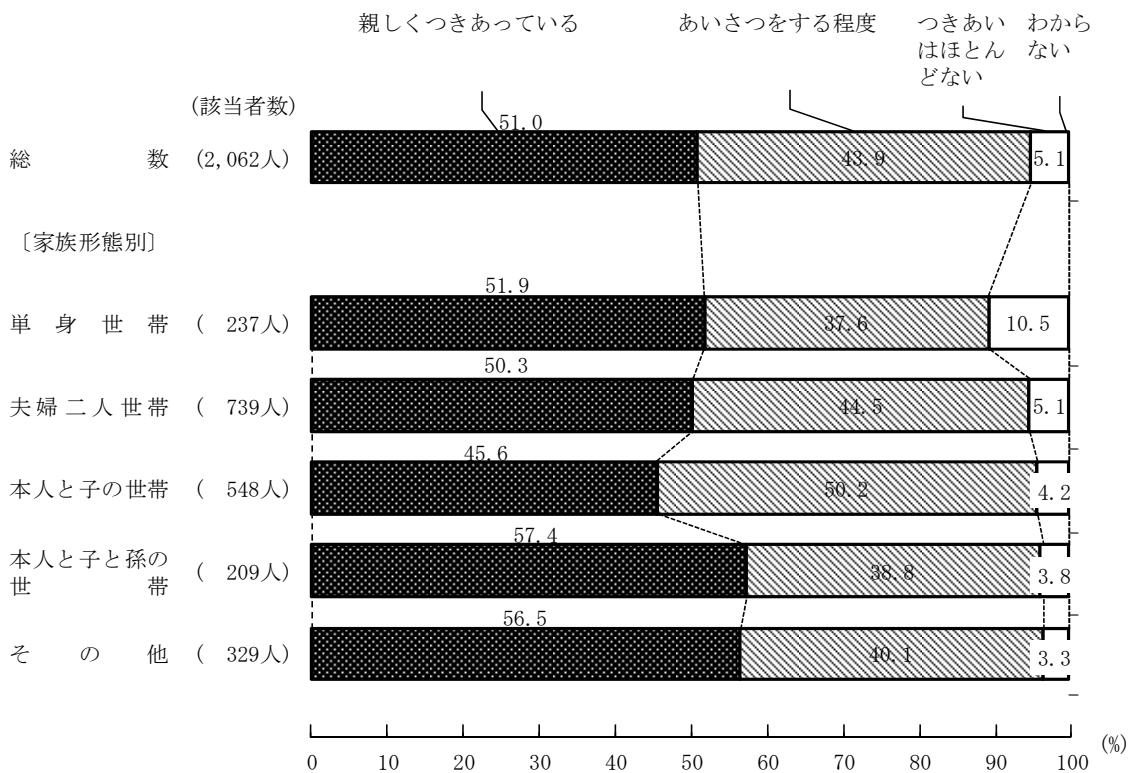


表 1 - 2 近所づきあいの程度

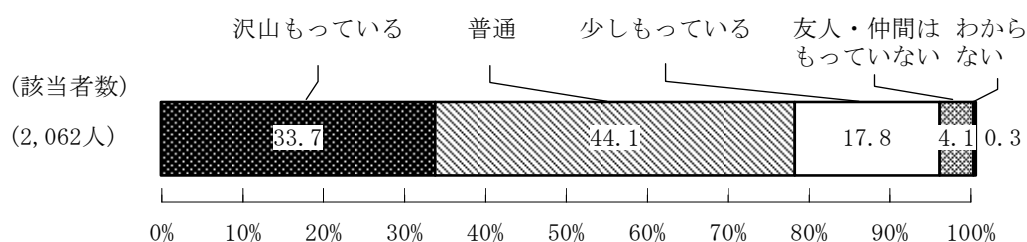
(%)

	総数	親しくつきあっている	あいさつをする程度	つきあいはほとんどない	わからない
【総数】	2062	51.0	43.9	5.1	-
【都市規模別】					
大都市	472	43.4	52.1	4.4	-
中都市	867	46.1	48.0	5.9	-
小都市	522	63.2	32.0	4.8	-
町村	201	57.7	38.3	4.0	-
【性別】					
男性	979	45.8	48.8	5.4	-
女性	1083	55.7	39.5	4.8	-
【年齢階級別】					
60～64歳	574	45.1	50.9	4.0	-
65～69歳	500	51.4	45.2	3.4	-
70～74歳	457	54.9	39.6	5.5	-
75～79歳	322	51.9	41.0	7.1	-
80～84歳	147	56.5	39.5	4.1	-
85歳以上	62	54.8	27.4	17.7	-
【家族形態別】					
単身世帯	237	51.9	37.6	10.5	-
夫婦二世帯	739	50.3	44.5	5.1	-
本人と子の世帯	548	45.6	50.2	4.2	-
本人と子と孫の世帯	209	57.4	38.8	3.8	-
その他	329	56.5	40.1	3.3	-
【健康状態別】					
良い	787	57.4	38.9	3.7	-
まあ良い	379	54.1	42.7	3.2	-
普通	533	44.7	52.5	2.8	-
あまり良くない	293	43.0	44.7	12.3	-
良くない	70	42.9	38.6	18.6	-
良好(計)	1166	56.3	40.1	3.5	-
不良(計)	363	43.0	43.5	13.5	-

(3) 親しい友人・仲間の有無 (Q3)

ふだん親しくしている友人・仲間をどの程度もっているかについてみると、「普通」が44.1%と最も高く、次いで、「沢山もっている」が33.7%、「少しもっている」が17.8%、「友人・仲間はもっていない」が4.1%の順となっている。

図1-5 親しい友人・仲間の有無 (Q3)



年齢階級別にみると、いずれの年齢階級も「普通」が最も高くなっている。また、「沢山もっている」と合わせた普通以上の割合は、年齢が下がるほど高くなり、60～64歳では8割を超えている。

家族形態別にみると、単身世帯は他の家族形態に比べて「友人・仲間はもっていない」の割合が高い。

健康状態別にみると、良い人で「沢山もっている」が4割を超えている。

表1-3 親しい友人・仲間の有無 (%)

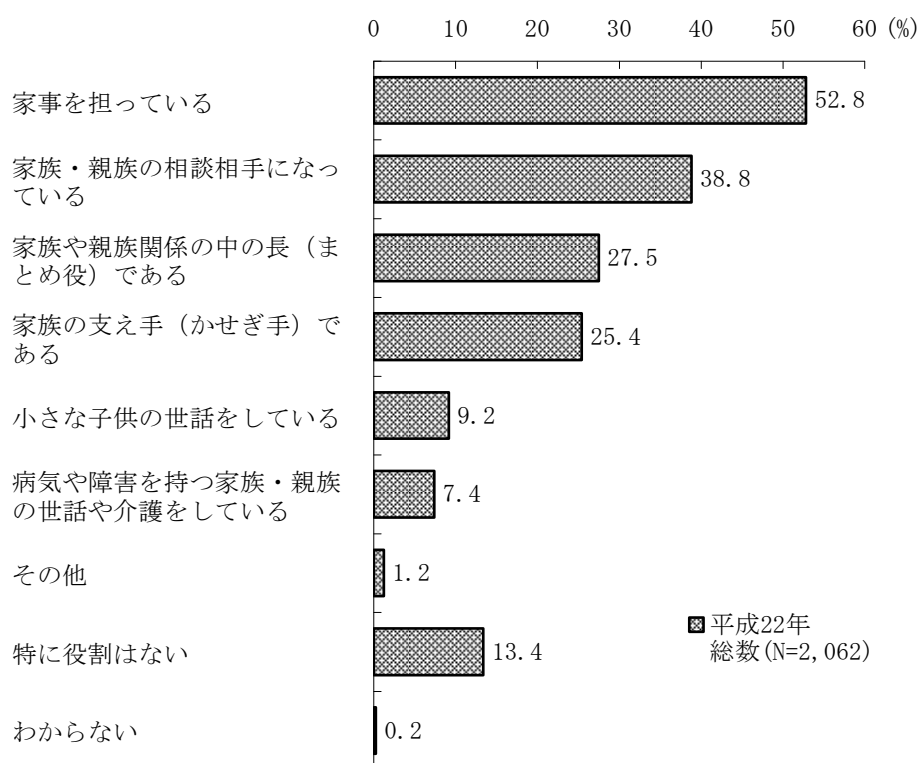
	総数	沢山もっている	普通	少しもっている	友人・仲間はもっていない	わからない
【総数】	2062	33.7	44.1	17.8	4.1	0.3
【都市規模別】						
大都市	472	33.9	43.4	19.1	3.6	-
中都市	867	30.9	43.6	19.5	5.4	0.6
小都市	522	39.5	43.9	14.0	2.5	0.2
町村	201	29.9	48.8	17.4	4.0	-
【性別】						
男性	979	32.6	43.9	18.8	4.6	0.1
女性	1083	34.6	44.3	16.9	3.7	0.5
【年齢階級別】						
60～64歳	574	31.0	50.7	16.0	2.1	0.2
65～69歳	500	34.2	45.6	17.8	2.0	0.4
70～74歳	457	38.5	39.2	16.2	5.9	0.2
75～79歳	322	32.9	42.5	19.6	4.3	0.6
80～84歳	147	32.7	40.1	21.8	5.4	-
85歳以上	62	24.2	25.8	27.4	22.6	-
【家族形態別】						
単身世帯	237	34.2	38.4	17.3	9.7	0.4
夫婦二世帯	739	35.5	44.4	16.6	3.2	0.3
本人と子の世帯	548	30.7	46.5	18.8	4.0	-
本人と子と孫の世帯	209	32.5	44.5	19.1	2.9	1.0
その他	329	35.0	43.5	18.2	3.0	0.3
【健康状態別】						
良い	787	42.8	45.1	10.0	1.8	0.3
まあ良い	379	35.4	40.6	19.8	4.0	0.3
普通	533	27.0	48.8	20.6	3.4	0.2
あまり良くない	293	21.8	41.3	27.3	9.2	0.3
良くない	70	21.4	28.6	32.9	15.7	1.4
良好 (計)	1166	40.4	43.7	13.2	2.5	0.3
不良 (計)	363	21.8	38.8	28.4	10.5	0.6

(4) 家族の中での役割 (Q4)

家族や親族の中でどのような役割を果たしているかについてみると、「家事を担っている」が52.8%と半数以上で最も高く、次いで、「家族・親族の相談相手になっている」が38.8%、「家族や親族関係の中の長（まとめ役）である」が27.5%、「家族の支え手（かせぎ手）である」が25.4%の順となっている。

なお、「特に役割はない」は13.4%と1割を超えている。

図1 - 6 家族の中での役割 (Q4) (複数回答)



性別にみると、女性は「家事を担っている」で8割を上回り、男性より圧倒的に割合が高い。一方、男性は「家族・親族の相談相手になっている」、「家族や親族関係の中の長（まとめ役）である」、「家族の支え手（かせぎ手）である」でいずれも4割を超え、高くなっている。

年齢階級別にみると、いずれの項目も年齢が下がるほど割合が高くなる傾向があり、中でも「家族の支え手（かせぎ手）である」は年代間の差が大きい。60代で「特に役割はない」が1割未満にとどまっており、大多数の60代が何らかの役割を果たしている。

家族形態別にみると、本人と子の世帯では「家事を担っている」が約6割となっている。

表1-4 家族の中での役割（複数回答）

（%）

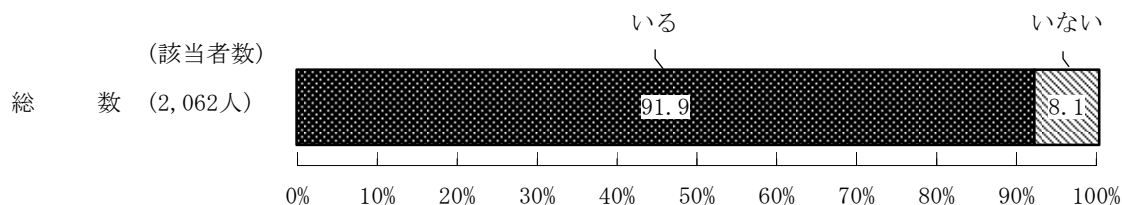
	総数	家事を担 っている	家族・親 族の相談 相手にな っている	家族や親族 関係の中 の長（ま とめ役） である	家族の支 え手（か せぎ手） である	小さな子 供の世話 をしてい る
【総数】	2062	52.8	38.8	27.5	25.4	9.2
【都市規模別】						
大都市	472	55.9	40.7	27.5	25.8	9.3
中都市	867	54.4	38.9	27.6	21.5	10.8
小都市	522	49.2	38.3	28.9	29.5	6.3
町村	201	47.8	35.8	23.4	30.8	9.0
【性別】						
男性	979	21.0	42.9	42.0	43.2	5.9
女性	1083	81.5	35.2	14.4	9.3	12.1
【年齢階級別】						
60～64歳	574	52.4	40.4	32.2	39.9	12.4
65～69歳	500	57.8	41.6	31.0	24.6	10.0
70～74歳	457	58.4	38.5	26.0	21.4	10.1
75～79歳	322	46.6	37.3	23.9	17.7	4.3
80～84歳	147	41.5	29.9	17.7	10.9	3.4
85歳以上	62	33.9	33.9	8.1	1.6	4.8
【家族形態別】						
単身世帯	237	48.9	21.1	7.6	8.9	4.6
夫婦二世帯	739	53.3	43.2	28.3	27.1	9.3
本人と子の世帯	548	59.9	37.4	29.4	28.3	5.5
本人と子と孫の世帯	209	49.3	44.0	31.6	20.6	19.1
その他	329	45.0	41.0	34.3	31.9	11.9
【健康状態別】						
良い	787	55.5	45.6	33.9	31.0	10.8
まあ良い	379	57.0	37.2	27.2	23.5	7.4
普通	533	54.4	36.8	24.2	26.6	9.9
あまり良くない	293	43.0	29.7	19.1	15.4	6.5
良くない	70	28.6	25.7	17.1	5.7	5.7
良好（計）	1166	56.0	42.9	31.7	28.6	9.7
不良（計）	363	40.2	28.9	18.7	13.5	6.3

	病気や障害 を持つ家 族・親族の 世話や介護 をしている	その他	特に役割 はない	わからない	回答計
【総数】	7.4	1.2	13.4	0.2	175.9
【都市規模別】					
大都市	9.1	0.8	11.2	0.4	180.9
中都市	8.2	0.9	14.0	0.2	176.5
小都市	4.8	2.3	12.8	-	172.2
町村	6.5	0.5	17.4	0.5	171.6
【性別】					
男性	4.8	1.3	16.5	0.3	178.0
女性	9.7	1.1	10.5	0.2	174.1
【年齢階級別】					
60～64歳	11.7	1.2	6.3	0.3	196.9
65～69歳	7.4	0.6	9.6	0.2	182.8
70～74歳	5.3	1.3	13.8	0.2	175.1
75～79歳	4.3	0.9	20.5	-	155.6
80～84歳	4.1	2.7	27.2	-	137.4
85歳以上	6.5	3.2	37.1	1.6	130.6
【家族形態別】					
単身世帯	3.4	1.7	35.0	0.8	132.1
夫婦二世帯	6.8	1.4	9.5	-	178.8
本人と子の世帯	5.7	0.9	8.2	0.4	175.5
本人と子と孫の世帯	4.8	1.0	16.7	-	187.1
その他	16.1	1.2	13.1	0.3	194.8
【健康状態別】					
良い	7.4	1.3	8.5	-	194.0
まあ良い	6.3	1.8	12.1	0.3	172.8
普通	8.6	0.8	10.7	0.2	172.2
あまり良くない	7.2	1.4	27.3	0.7	150.2
良くない	4.3	-	37.1	1.4	125.7
良好（計）	7.0	1.5	9.7	0.1	187.1
不良（計）	6.6	1.1	29.2	0.8	145.5

(5) 子どもの有無 (Q5)

現在、子どもがいるかについてみると、「いる」人が91.9%と大多数を占め、「いない」人は8.1%と1割以下となっている。

図1-7 子どもの有無 (Q5)



都市規模別にみると、「いない」人は大都市で1割を超えている。

家族形態別にみると、単身世帯は「いない」割合が26.2%で他の家族と比べて高くなっている。

表1-5 子どもの有無 (%)

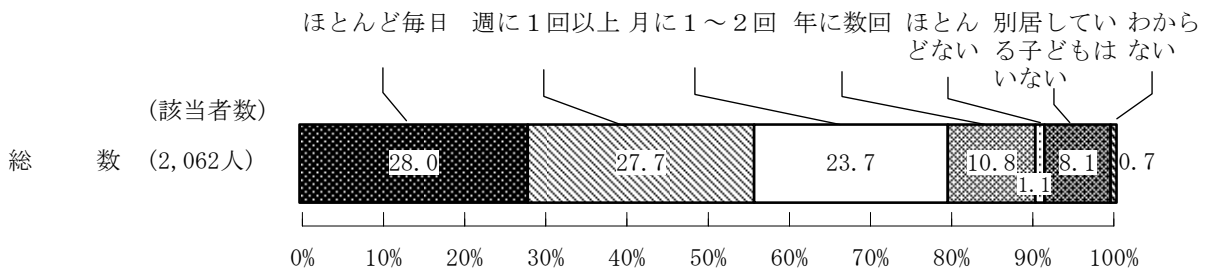
	総数	いる	いない
【総数】	2062	91.9	8.1
【都市規模別】			
大都市	472	88.8	11.2
中都市	867	92.4	7.6
小都市	522	94.1	5.9
町村	201	92.0	8.0
【性別】			
男性	979	91.6	8.4
女性	1083	92.2	7.8
【年齢階級別】			
60～64歳	574	89.2	10.8
65～69歳	500	91.4	8.6
70～74歳	457	93.9	6.1
75～79歳	322	94.4	5.6
80～84歳	147	91.2	8.8
85歳以上	62	96.8	3.2
【家族形態別】			
単身世帯	237	73.8	26.2
夫婦二世帯	739	90.5	9.5
本人と子の世帯	548	100.0	-
本人と子と孫の世帯	209	100.0	-
その他	329	89.7	10.3
【健康状態別】			
良い	787	92.1	7.9
まあ良い	379	91.8	8.2
普通	533	93.2	6.8
あまり良くない	293	89.1	10.9
良くない	70	92.9	7.1
良好 (計)	1166	92.0	8.0
不良 (計)	363	89.8	10.2

(6) 家族との接触頻度 (Q5SQ)

現在、子どもがいる人 (Q5で子どもが「いる」と回答した人をいう。) の別居している子どもとの接触頻度についてみると、「ほとんど毎日」が28.0%で最も割合が高く、次いで、「週に1回以上」が27.7%、「月に1~2回」が23.7%、「年に数回」が10.8%の順となっている。

なお、「別居している子どもはいない」は8.1%である。

図1-8 家族との接触頻度 (Q5SQ)



性別にみると、女性では「ほとんど毎日」接触する人が3割を占めている。

家族形態別にみると、単身世帯及び夫婦二世帯では「週に1回以上」(単身37.1%、夫婦35.0%)の頻度で接触をもっている割合が高く、特に単身世帯では、3人に2人が週に1回以上(「ほとんど毎日」との計)の接触をもっている。

表1-6 家族との接触頻度

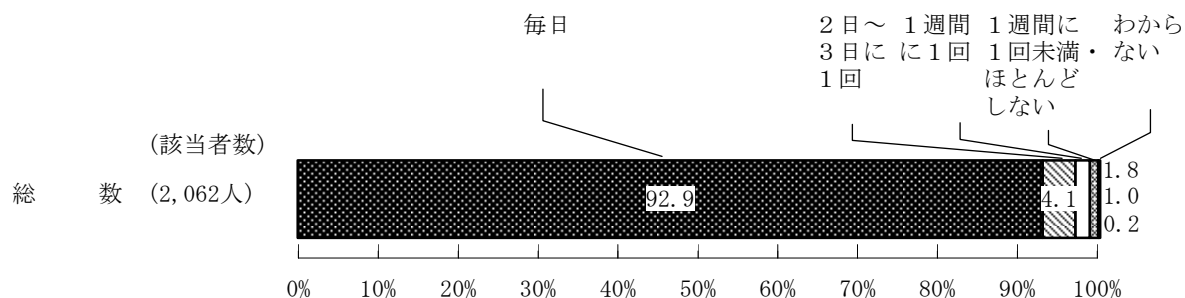
(%)

	該当数	ほとんど毎日	週に1回以上	月に1~2回	年に数回	ほとんどない	別居している子どもはいない	わからない
【総数】	1896	28.0	27.7	23.7	10.8	1.1	8.1	0.7
【都市規模別】								
大都市	419	27.7	25.8	22.9	11.5	0.2	10.3	1.7
中都市	801	29.1	28.7	22.7	8.9	1.6	8.4	0.6
小都市	491	26.7	28.7	24.4	13.4	1.0	5.3	0.4
町村	185	27.0	24.9	27.6	10.3	1.1	9.2	-
【性別】								
男性	897	25.0	25.9	26.3	12.6	1.6	7.9	0.8
女性	999	30.6	29.3	21.3	9.1	0.7	8.2	0.7
【年齢階級別】								
60~64歳	512	29.5	27.3	20.5	9.4	1.2	10.9	1.2
65~69歳	457	28.2	27.6	25.6	10.9	0.9	5.5	1.3
70~74歳	429	25.6	28.9	25.4	12.1	0.5	7.5	-
75~79歳	304	27.3	26.6	25.7	11.5	1.0	7.2	0.7
80~84歳	134	29.1	28.4	22.4	7.5	2.2	10.4	-
85歳以上	60	30.0	26.7	16.7	15.0	5.0	6.7	-
【家族形態別】								
単身世帯	175	29.7	37.1	18.3	10.3	3.4	-	1.1
夫婦二世帯	669	24.5	35.0	28.4	10.6	0.4	-	1.0
本人と子の世帯	548	29.7	19.3	22.8	10.9	1.1	15.7	0.4
本人と子と孫の世帯	209	28.7	27.3	17.2	10.5	1.9	13.4	1.0
その他	295	30.8	21.4	22.4	11.2	0.7	13.2	0.3
【健康状態別】								
良い	725	30.5	28.8	23.0	9.2	0.4	6.9	1.1
まあ良い	348	24.1	29.9	22.4	12.4	1.1	9.5	0.6
普通	497	27.4	27.0	24.9	12.1	1.0	7.4	0.2
あまり良くない	261	24.1	23.8	27.6	10.3	2.3	10.7	1.1
良くない	65	40.0	24.6	12.3	10.8	4.6	7.7	-
良好(計)	1073	28.4	29.2	22.8	10.3	0.7	7.7	0.9
不良(計)	326	27.3	23.9	24.5	10.4	2.8	10.1	0.9

(7) 会話の頻度 (Q6)

ふだんの電話やEメールを含めての会話の頻度についてみると、「毎日」が92.9%で大多数を占めている。「2日～3日に1回」(4.1%)、「1週間に1回」(1.8%)、「1週間に1回未満・ほとんど話をしない」(1.0%)はわずかである。

図1-9 会話の頻度 (Q6)



性別にみると、大きな差はみられない。

年齢階級別にみると、79歳以下では年齢が下がるほど「毎日」の割合が高くなっている。

家族形態別にみると、単身世帯を除く世帯で「毎日」会話をしている人が9割台後半を占めているのに対し、単身世帯では「毎日」が65.4%にとどまり、「2日～3日に1回」、「1週間に1回」、及び「1週間に1回未満・ほとんどなし」を合計すると3割を超える。

図1-10 会話の頻度 (家族形態別) (Q6)

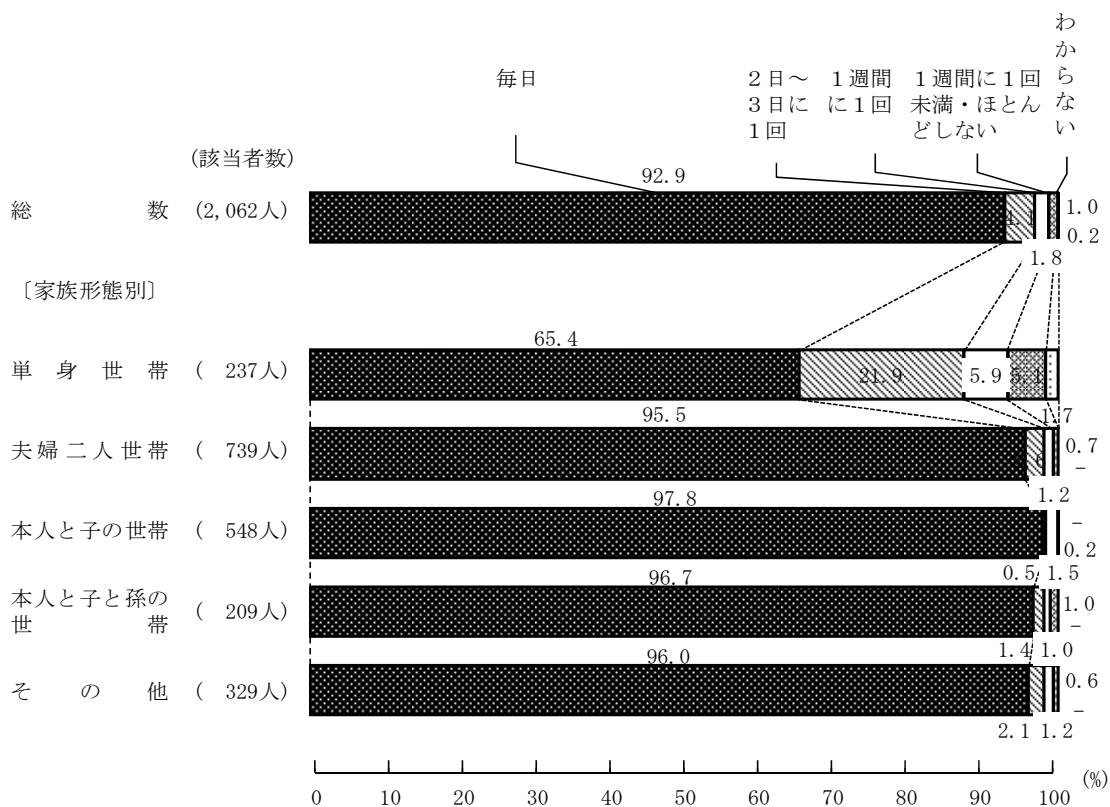


表 1 - 7 会話の頻度

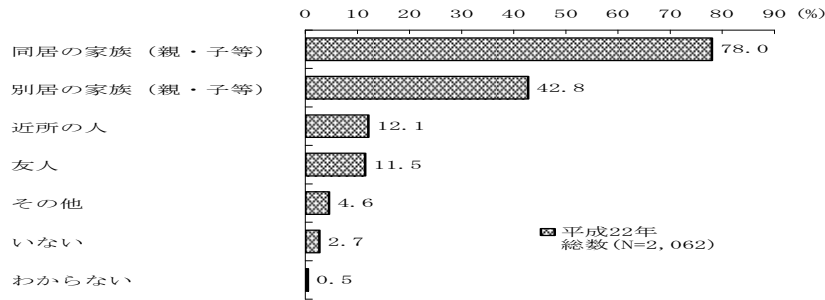
(%)

	総数	毎日	2日～3 日に1回	1週間に 1回	1週間に 1回未 満・ほと んど話を しない	わから ない
【総数】	2062	92.9	4.1	1.8	1.0	0.2
【都市規模別】						
大都市	472	93.6	3.4	1.9	0.8	0.2
中都市	867	92.3	4.4	2.0	1.2	0.2
小都市	522	92.7	4.6	1.3	1.0	0.4
町村	201	94.0	3.0	2.0	1.0	-
【性別】						
男性	979	92.3	4.2	2.0	1.3	0.1
女性	1083	93.4	4.0	1.6	0.7	0.4
【年齢階級別】						
60～64歳	574	95.1	2.6	1.6	0.5	0.2
65～69歳	500	94.6	3.2	1.6	0.4	0.2
70～74歳	457	91.2	5.0	2.0	1.5	0.2
75～79歳	322	89.4	6.8	2.2	1.6	-
80～84歳	147	92.5	4.1	2.0	1.4	-
85歳以上	62	88.7	3.2	1.6	3.2	3.2
【家族形態別】						
単身世帯	237	65.4	21.9	5.9	5.1	1.7
夫婦二世帯	739	95.5	2.6	1.2	0.7	-
本人と子の世帯	548	97.8	0.5	1.5	-	0.2
本人と子と孫の世帯	209	96.7	1.4	1.0	1.0	-
その他	329	96.0	2.1	1.2	0.6	-
【健康状態別】						
良い	787	94.9	2.3	2.0	0.8	-
まあ良い	379	94.2	3.7	0.8	1.1	0.3
普通	533	91.7	5.3	1.7	1.3	-
あまり良くない	293	89.4	6.1	2.7	1.0	0.7
良くない	70	85.7	8.6	1.4	1.4	2.9
良好（計）	1166	94.7	2.7	1.6	0.9	0.1
不良（計）	363	88.7	6.6	2.5	1.1	1.1

(8) 頼れる人の存在の有無 (Q 7)

病気のときや、一人ではできない家の周りの仕事の手伝いなどについて頼れる人の有無についてみると、「同居の家族（親・子等）」が78.0%で最も高く、次いで、「別居の家族（親・子等）」が42.8%、「近所の人」が12.1%、「友人」が11.5%の順となっている。
 なお、「いない」人は2.7%である。

図 1 - 11 頼れる人の存在の有無 (Q 7) (複数回答)



性別にみると、「同居の家族（親・子等）」は男性で、「別居の家族（親・子等）」は女性で高くなっている。

年齢階級別にみると、60～69歳で「同居の家族（親・子等）」（60～64歳82.9%、65～69歳81.8%）が8割を超えている。

家族形態別にみると、本人と子の世帯、本人と子と孫の世帯、その他の世帯では「同居の家族（親・子等）」がいずれも9割を超えている。一方、単身世帯では、「別居の家族（親・子等）」で65.0%に達し、「近所の人」、「友人」、「その他」、「いない」も他の家族形態に比べて高くなっている。また、夫婦二世帯でも、「別居の家族（親・子等）」が半数を超えている。

図 1 - 12 頼れる人の存在の有無 (家族形態別) (Q 7) (複数回答)

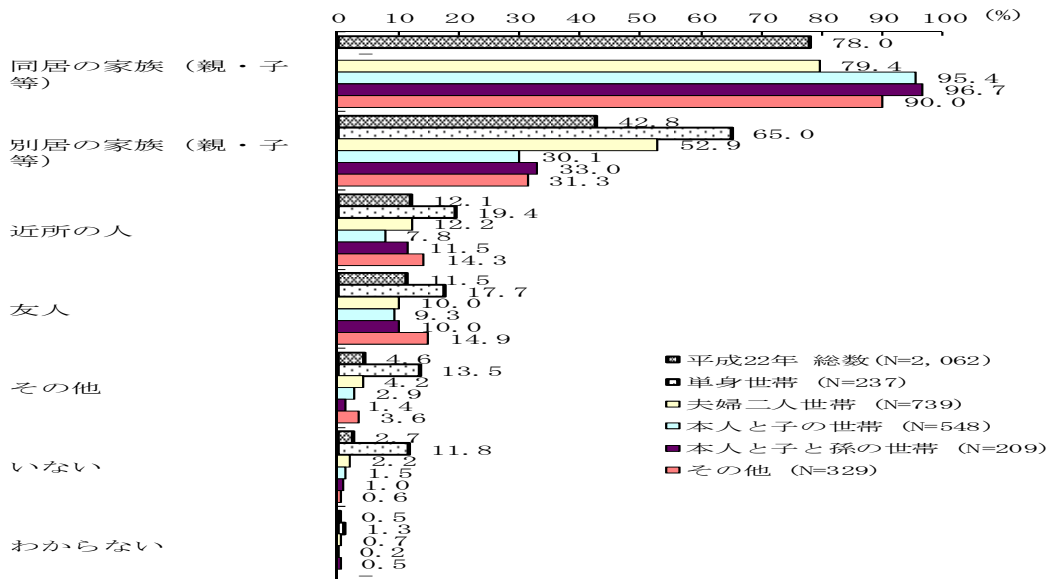


表 1 - 8 頼れる人の存在の有無（複数回答）

(%)

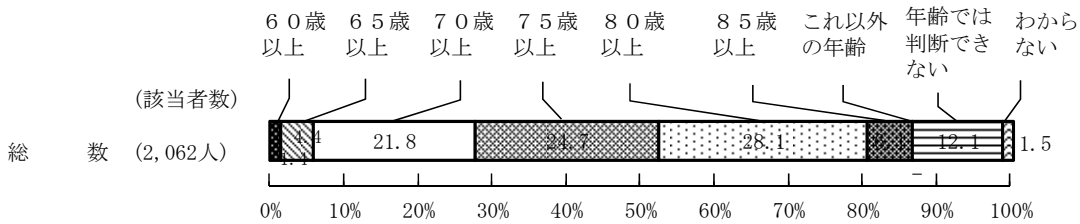
	総数	同居の家族（親・子等）	別居の家族（親・子等）	近所の人	友人	その他	いない	わからない	回答計
【 総 数 】	2062	78.0	42.8	12.1	11.5	4.6	2.7	0.5	152.1
【都市規模別】									
大都市	472	75.2	41.3	7.2	10.0	4.4	3.8	1.7	143.6
中都市	867	79.1	45.3	11.4	11.2	5.1	2.4	0.1	154.7
小都市	522	79.9	42.3	16.1	13.0	4.0	2.1	-	157.5
町村	201	74.6	36.3	16.4	12.4	4.0	3.0	0.5	147.3
【性別】									
男性	979	80.4	39.8	13.3	11.8	4.7	3.4	0.4	153.8
女性	1083	75.8	45.4	11.1	11.2	4.4	2.1	0.6	150.6
【年齢階級別】									
60～64歳	574	82.9	38.2	11.5	15.5	4.5	2.6	0.2	155.4
65～69歳	500	81.8	40.4	11.0	12.2	3.6	2.0	0.8	151.8
70～74歳	457	74.4	47.7	14.4	11.6	5.3	3.3	0.4	157.1
75～79歳	322	75.5	44.4	10.6	6.5	4.0	4.0	0.6	145.7
80～84歳	147	66.0	47.6	15.0	6.1	7.5	1.4	-	143.5
85歳以上	62	69.4	48.4	11.3	6.5	3.2	1.6	1.6	141.9
【家族形態別】									
単身世帯	237	-	65.0	19.4	17.7	13.5	11.8	1.3	128.7
夫婦二世帯	739	79.4	52.9	12.2	10.0	4.2	2.2	0.7	161.6
本人と子の世帯	548	95.4	30.1	7.8	9.3	2.9	1.5	0.2	147.3
本人と子と孫の世帯	209	96.7	33.0	11.5	10.0	1.4	1.0	0.5	154.1
その他	329	90.0	31.3	14.3	14.9	3.6	0.6	-	154.7
【健康状態別】									
良い	787	80.9	44.5	13.2	14.1	4.4	2.2	0.4	159.7
まあ良い	379	77.0	42.2	13.5	12.7	2.4	2.4	0.8	150.9
普通	533	78.6	42.6	9.8	9.2	4.9	3.0	0.6	148.6
あまり良くない	293	73.0	39.6	12.6	8.2	6.1	4.1	0.3	144.0
良くない	70	65.7	41.4	8.6	7.1	8.6	2.9	-	134.3
良好（計）	1166	79.7	43.7	13.3	13.6	3.8	2.2	0.5	156.9
不良（計）	363	71.6	39.9	11.8	8.0	6.6	3.9	0.3	142.1

(9) 支えられるべき高齢者の年齢 (Q 8)

一般的に支えられるべき高齢者とは何歳以上だと思うかについてみると、「80歳以上」が28.1%で最も高く、次いで、「75歳以上」が24.7%、「70歳以上」が21.8%と2割以上の回答が続く。以下、大きく差をつけて、「85歳以上」が6.1%、「65歳以上」が4.4%、「60歳以上」が1.4%の順となっている。

なお、「年齢では判断できない」は12.1%で1割を超えている。

図 1 - 13 支えられるべき高齢者の年齢 (Q 8)



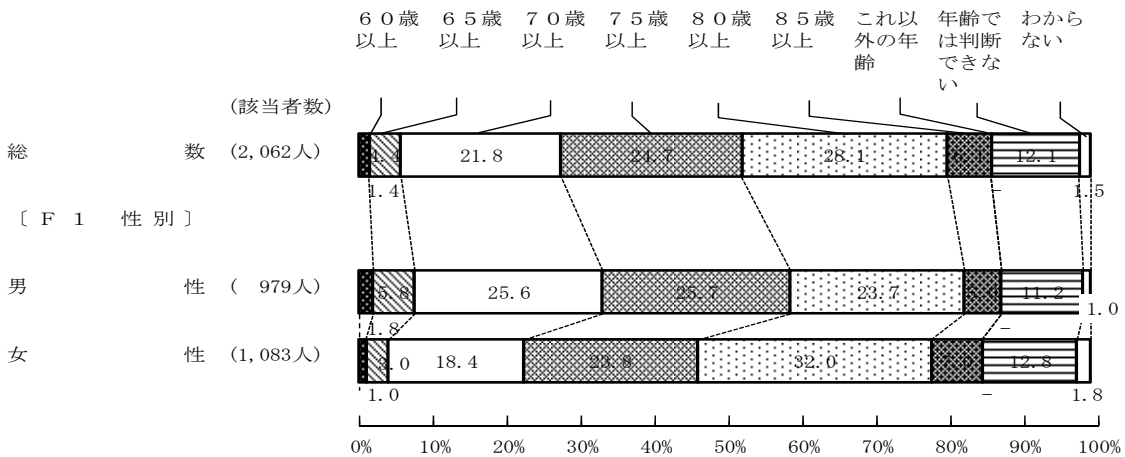
(注)「これ以外の年齢」は、選択肢にはあるが、回答者(割合)が0(0%)

性別にみると、女性では「80歳以上」が3割を超え、続く「75歳以上」と合わせると、半数以上を占めている。一方、男性では「70歳以上」と「75歳以上」で半数以上となっている。

年齢階級別にみると、60～64歳では「70歳以上」と「75歳以上」がほぼ同率で、65～69歳では「75歳以上」が、70歳以上では「80歳以上」がそれぞれ最も高くなっている。

家族形態別にみると、夫婦二人世帯以外の家族形態で「80歳以上」の割合が最も高い一方、夫婦二人世帯では「75歳以上」が最も高くなっている。

図 1 - 14 支えられるべき高齢者の年齢 (男女別) (Q 8)



(注)「これ以外の年齢」は、選択肢にはあるが、回答者(割合)が0(0%)

表1 - 9 支えられるべき高齢者の年齢

(%)

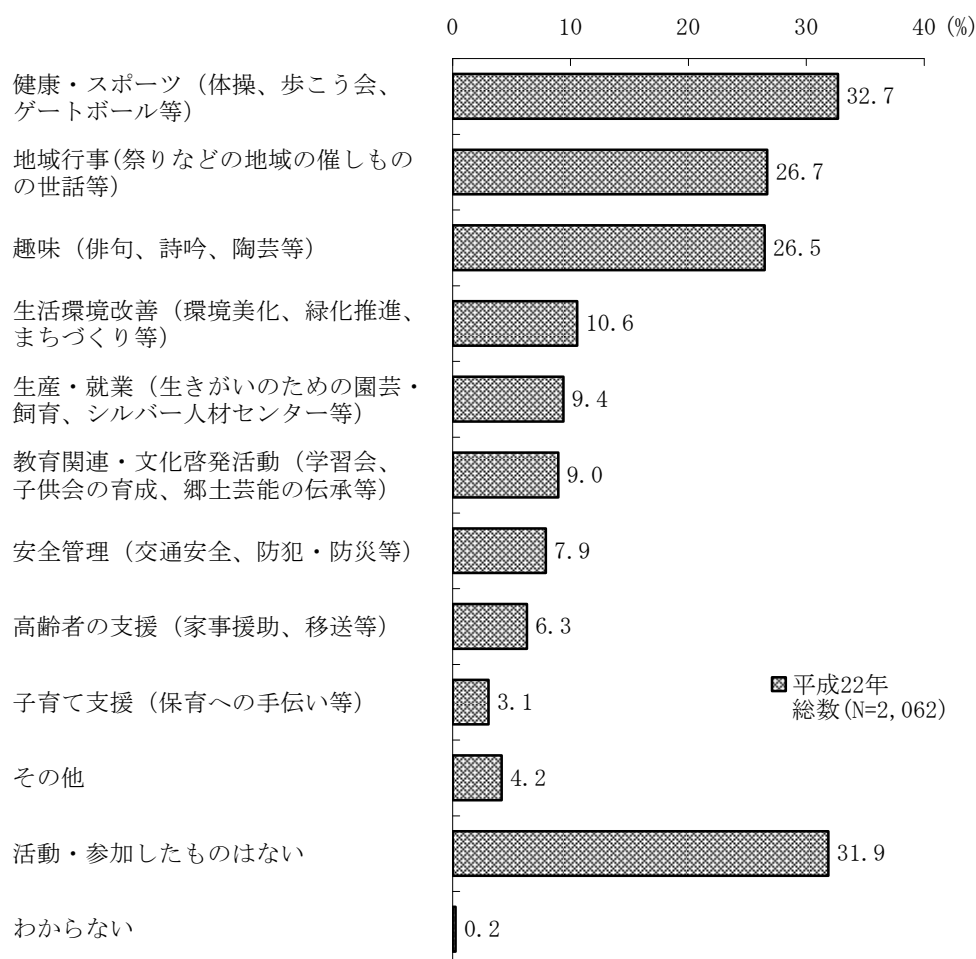
	総数	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	これ以外の年齢	年齢では判断できない	わからない
【総数】	2062	1.4	4.4	21.8	24.7	28.1	6.1	-	12.1	1.5
【都市規模別】										
大都市	472	0.6	3.8	24.2	25.8	27.8	5.7	-	10.8	1.3
中都市	867	1.6	3.8	20.3	25.8	27.8	5.1	-	13.6	2.0
小都市	522	1.5	5.0	21.8	22.0	29.9	9.2	-	9.6	1.0
町村	201	2.0	6.5	22.9	24.4	25.4	3.0	-	14.9	1.0
【性別】										
男性	979	1.8	5.8	25.6	25.7	23.7	5.0	-	11.2	1.0
女性	1083	1.0	3.0	18.4	23.8	32.0	7.0	-	12.8	1.8
【年齢階級別】										
60～64歳	574	1.4	4.7	27.4	27.7	23.7	3.0	-	11.3	0.9
65～69歳	500	1.6	4.8	21.4	30.0	25.4	4.8	-	11.0	1.0
70～74歳	457	1.1	5.0	17.7	22.8	31.9	6.8	-	14.0	0.7
75～79歳	322	1.6	2.8	21.4	20.5	32.6	7.1	-	12.1	1.9
80～84歳	147	2.0	4.1	17.7	14.3	31.3	15.0	-	11.6	4.1
85歳以上	62	-	1.6	16.1	16.1	30.6	12.9	-	14.5	8.1
【家族形態別】										
単身世帯	237	1.3	5.1	21.1	19.0	29.1	5.1	-	18.1	1.3
夫婦二世帯	739	1.6	3.9	21.2	28.4	26.9	6.4	-	10.8	0.7
本人と子の世帯	548	1.5	4.4	23.9	24.3	27.0	5.7	-	11.3	2.0
本人と子と孫の世帯	209	1.4	4.3	20.6	21.1	34.9	5.7	-	9.1	2.9
その他	329	0.9	4.9	21.0	23.7	27.4	7.0	-	13.7	1.5
【健康状態別】										
良い	787	1.0	4.2	20.3	25.5	28.7	7.2	-	11.7	1.3
まあ良い	379	1.3	3.2	18.7	25.6	31.9	6.9	-	11.9	0.5
普通	533	2.1	4.3	23.5	24.8	27.2	5.1	-	11.8	1.3
あまり良くない	293	0.7	5.8	24.9	23.2	25.3	3.4	-	13.7	3.1
良くない	70	4.3	7.1	30.0	17.1	18.6	7.1	-	12.9	2.9
良好（計）	1166	1.1	3.9	19.8	25.6	29.8	7.1	-	11.7	1.0
不良（計）	363	1.4	6.1	25.9	22.0	24.0	4.1	-	13.5	3.0

(10) 参加した活動 (Q9)

この1年間に、個人または友人と、あるいは自主的に行われているグループや団体へ参加した活動についてみると、「健康・スポーツ (体操、歩こう会、ゲートボール等)」が32.7%で最も高い。以下、「地域行事 (祭りなどの地域の催しものの世話等)」が26.7%、「趣味 (俳句、詩吟、陶芸等)」が26.5%、「生活環境改善 (環境美化、緑化推進、まちづくり等)」が10.6%、「生産・就業 (生きがいのための園芸・飼育、シルバー人材センター等)」が9.4%、「教育関連・文化啓発活動 (学習会、子供会の育成、郷土芸能の伝承等)」が9.0%、「安全管理 (交通安全、防犯・防災等)」が7.9%、「高齢者の支援 (家事援助、移送等)」が6.3%などの順となっている。

なお、「活動・参加したものはなし」人は31.9%で3割を超えている。

図1 - 15 参加した活動 (Q9) (複数回答)



都市規模別にみると、「地域行事 (祭りなどの地域の催しものの世話等)」は小都市で3割を超えている。

性別にみると、「健康・スポーツ (体操、歩こう会、ゲートボール等)」及び「地域行事 (祭りなどの地域の催しものの世話等)」は女性より男性で割合が高くなっている。一方、「趣味 (俳句、詩吟、陶芸等)」は女性の割合が高く、女性では最も多く挙げられている。

年齢階級別にみると、多くの活動において、年齢が下がるほど参加した割合が高くなる傾向がみられる。60代の「活動・参加したものはない」割合は26%程度で、ほぼ4人に3人が何らかの活動への参加経験がある。

家族形態別にみると、本人と子と孫の世帯では「活動・参加したものはない」が4割を超えている。

表1-10 参加した活動（複数回答）

(%)

	総数	健康・スポーツ	地域行事	趣味	生活環境改善	生産・就業	教育関連・文化啓発活動	安全管理
【総数】	2062	32.7	26.7	26.5	10.6	9.4	9.0	7.9
【都市規模別】								
大都市	472	30.5	22.9	29.4	8.7	6.6	9.1	8.1
中都市	867	33.6	25.7	27.0	9.9	9.6	9.2	6.7
小都市	522	32.4	32.0	23.6	13.2	12.5	8.6	9.2
町村	201	34.8	25.9	24.9	10.9	7.5	8.5	9.5
【性別】								
男性	979	35.4	32.1	20.8	13.8	11.8	9.7	12.1
女性	1083	30.2	21.8	31.6	7.7	7.2	8.3	4.2
【年齢階級別】								
60～64歳	574	35.7	30.1	28.4	11.8	10.5	11.1	8.7
65～69歳	500	37.2	32.8	29.0	14.0	12.2	10.4	9.2
70～74歳	457	34.4	25.8	25.2	10.7	8.8	9.4	9.0
75～79歳	322	28.9	19.9	25.2	7.5	5.3	4.3	5.6
80～84歳	147	18.4	18.4	21.8	4.1	6.1	6.8	5.4
85歳以上	62	9.7	6.5	16.1	1.6	11.3	3.2	-
【家族形態別】								
単身世帯	237	30.8	18.6	27.4	8.9	4.6	10.5	5.9
夫婦二世帯	739	37.2	27.7	30.6	10.8	10.1	8.5	7.7
本人と子の世帯	548	31.9	27.2	24.6	9.5	9.5	8.9	8.2
本人と子と孫の世帯	209	22.0	25.4	21.5	10.0	9.6	6.7	8.6
その他	329	31.9	30.1	22.8	13.4	10.9	10.3	8.8
【健康状態別】								
良い	787	43.8	31.6	30.6	13.0	11.7	12.2	10.4
まあ良い	379	30.9	27.7	22.4	12.1	11.1	10.6	8.7
普通	533	30.4	27.0	28.5	10.3	8.6	7.3	6.2
あまり良くない	293	15.7	16.7	19.8	4.8	3.8	3.1	4.4
良くない	70	5.7	4.3	14.3	1.4	4.3	1.4	2.9
良好（計）	1166	39.6	30.4	28.0	12.7	11.5	11.7	9.9
不良（計）	363	13.8	14.3	18.7	4.1	3.9	2.8	4.1

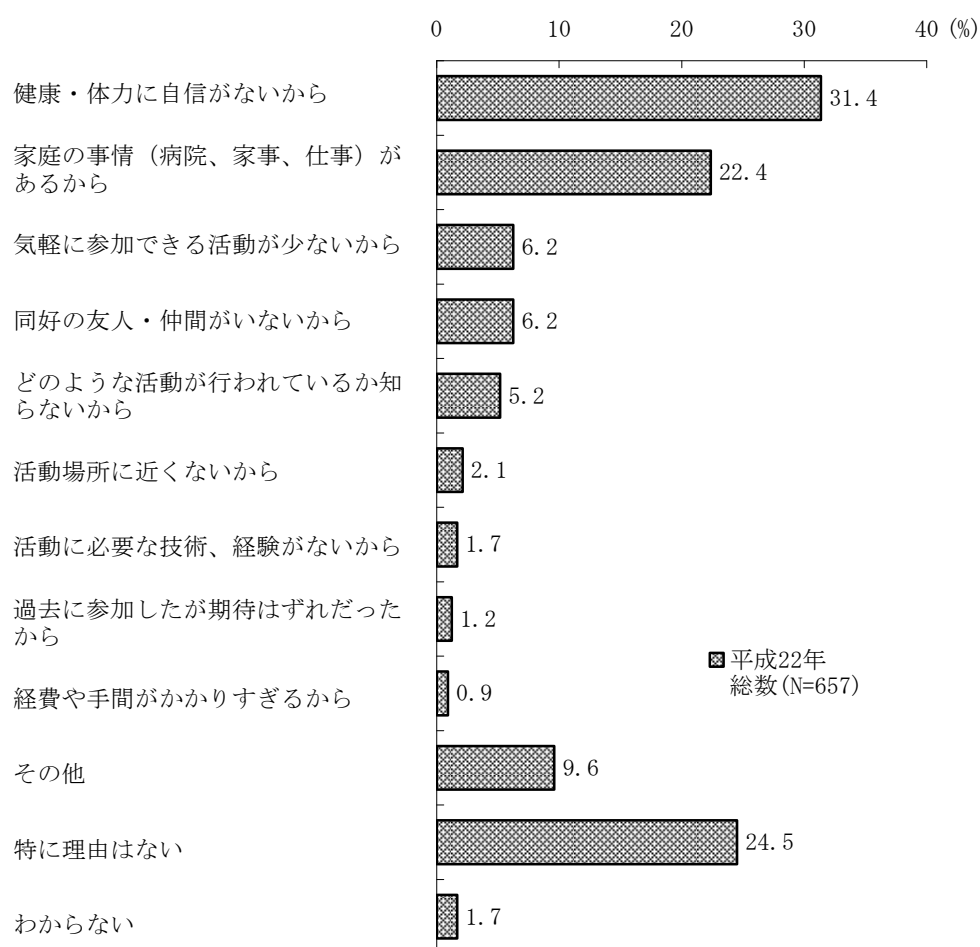
	高齢者の支援	子育て支援	その他	活動・参加したものはない	わからない	回答計	参加したことがある（計）
【総数】	6.3	3.1	4.2	31.9	0.2	168.3	67.9
【都市規模別】							
大都市	5.9	2.1	6.4	32.8	0.2	162.7	66.9
中都市	7.3	3.9	3.6	32.6	0.1	169.2	67.2
小都市	6.3	2.7	3.8	29.1	0.6	173.9	70.3
町村	3.0	2.5	2.5	33.3	-	163.2	66.7
【性別】							
男性	5.4	2.1	3.1	30.3	0.1	176.8	69.6
女性	7.1	3.9	5.2	33.2	0.4	160.7	66.4
【年齢階級別】							
60～64歳	8.7	4.0	2.6	26.3	0.2	178.2	73.5
65～69歳	7.2	3.8	4.0	26.2	0.4	186.4	73.4
70～74歳	7.0	3.1	5.5	32.8	-	171.6	67.2
75～79歳	2.8	1.6	5.3	37.9	-	144.1	62.1
80～84歳	2.0	0.7	4.8	43.5	0.7	132.7	55.8
85歳以上	-	1.6	3.2	62.9	1.6	117.7	35.5
【家族形態別】							
単身世帯	3.4	1.7	5.9	35.9	0.8	154.4	63.3
夫婦二世帯	7.8	4.5	3.8	25.7	0.3	174.8	74.0
本人と子の世帯	5.7	1.8	4.2	34.5	-	166.1	65.5
本人と子と孫の世帯	3.3	2.4	3.8	42.6	0.5	156.5	56.9
その他	7.9	3.3	4.0	31.6	-	175.1	68.4
【健康状態別】							
良い	7.8	4.6	4.2	21.1	0.3	191.2	78.7
まあ良い	7.1	2.6	3.7	33.5	-	170.4	66.5
普通	6.0	2.3	4.1	31.3	0.2	162.3	68.5
あまり良くない	3.4	1.7	4.8	51.5	0.3	130.0	48.1
良くない	-	-	4.3	65.7	1.4	105.7	32.9
良好（計）	7.5	3.9	4.0	25.1	0.2	184.5	74.7
不良（計）	2.8	1.4	4.7	54.3	0.6	125.3	45.2

(11) 活動に参加しなかった理由 (Q9SQ)

この1年間に、個人または友人と、あるいは自主的に行われているグループや団体の活動に参加しなかった人 (Q9で「活動・参加したものはなし」と回答した人をいう。)の理由についてみると、「健康・体力に自信がないから」が31.4%と3割を超え最も高く、次いで、「家庭の事情 (病院、家事、仕事) があるから」が22.4%で続く。以下、「気軽に参加できる活動が少ないから」と「同好の友人・仲間がいないから」が6.2%、「どのような活動が行われているか知らないから」が5.2%の順となっている。

なお、「特に理由はない」は24.5%と4人に1人の割合となっている。

図1-16 活動に参加しなかった理由 (Q9SQ) (複数回答)



性別にみると、女性は男性に比べて「家庭の事情 (病院、家事、仕事) があるから」の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢階級が上がるほど「健康・体力に自信がないから」の割合が高くなる傾向がみられる。一方、「家庭の事情 (病院、家事、仕事) があるから」は年齢階級が下がるほど割合が高くなる傾向がみられ、60~64歳では4割近くに達している。

健康状態別にみると、「健康・体力に自信がないから」は健康状態が不良な人ほど、「家庭の事情 (病院、家事、仕事) があるから」は良好な人ほど高くなる傾向がみられる。

表1 - 11 活動に参加しなかった理由（複数回答）

(%)

	該当数	健康・体力に自信がないから	家庭の事情（病院、家事、仕事）があるから	気軽に参加できる活動が少ないから	同好の友人・仲間がいないから	どのような活動が行われているかわからないから	活動場所に近くないから
【総数】	657	31.4	22.4	6.2	6.2	5.2	2.1
【都市規模別】							
大都市	155	27.1	27.7	5.2	5.8	8.4	3.9
中都市	283	29.0	19.8	6.0	7.4	5.3	1.8
小都市	152	34.9	21.7	9.2	5.3	3.3	1.3
町村	67	43.3	22.4	3.0	4.5	1.5	1.5
【性別】							
男性	297	29.3	17.8	6.7	6.7	6.7	3.0
女性	360	33.1	26.1	5.8	5.8	3.9	1.4
【年齢階級別】							
60～64歳	151	10.6	38.4	8.6	5.3	9.3	1.3
65～69歳	131	22.1	25.2	9.2	6.1	5.3	3.8
70～74歳	150	30.0	23.3	6.0	9.3	5.3	2.7
75～79歳	122	41.8	10.7	3.3	5.7	3.3	1.6
80～84歳	64	65.6	6.3	3.1	4.7	-	1.6
85歳以上	39	59.0	10.3	2.6	2.6	2.6	-
【家族形態別】							
単身世帯	85	35.3	18.8	3.5	9.4	8.2	1.2
夫婦二世帯	190	30.5	14.7	9.5	6.8	5.8	3.7
本人と子の世帯	189	30.2	28.0	5.8	4.8	4.8	2.6
本人と子と孫の世帯	89	32.6	28.1	4.5	3.4	4.5	-
その他	104	30.8	24.0	4.8	7.7	2.9	1.0
【健康状態別】							
良い	166	6.6	33.7	6.6	6.0	7.8	3.0
まあ良い	127	23.6	18.1	11.0	7.9	4.7	3.1
普通	167	18.0	26.9	6.6	7.2	6.6	1.8
あまり良くない	151	63.6	13.9	2.6	5.3	2.6	1.3
良くない	46	84.8	4.3	2.2	2.2	-	-
良好（計）	293	14.0	27.0	8.5	6.8	6.5	3.1
不良（計）	197	68.5	11.7	2.5	4.6	2.0	1.0

	活動に必要な技術、経験がないから	過去に参加したが期待はずれだったから	経費や手間がかかりすぎるから	その他	特に理由はない	わからない	回答計
【総数】	1.7	1.2	0.9	9.6	24.5	1.7	113.1
【都市規模別】							
大都市	1.9	1.3	0.6	11.6	21.3	1.9	116.8
中都市	2.1	1.4	1.4	8.1	27.6	1.8	111.7
小都市	1.3	1.3	0.7	10.5	23.0	2.0	114.5
町村	-	-	-	9.0	22.4	-	107.5
【性別】							
男性	2.4	1.3	1.0	11.1	26.6	2.4	115.2
女性	1.1	1.1	0.8	8.3	22.8	1.1	111.4
【年齢階級別】							
60～64歳	3.3	2.0	2.0	12.6	23.8	1.3	118.5
65～69歳	2.3	0.8	1.5	13.0	26.0	1.5	116.8
70～74歳	1.3	-	0.7	6.7	26.7	2.0	114.0
75～79歳	-	3.3	-	10.7	23.0	3.3	106.6
80～84歳	-	-	-	3.1	23.4	-	107.8
85歳以上	2.6	-	-	5.1	20.5	-	105.1
【家族形態別】							
単身世帯	-	-	1.2	8.2	20.0	2.4	108.2
夫婦二世帯	2.1	2.1	1.1	10.0	27.9	2.6	116.8
本人と子の世帯	1.6	1.6	1.1	9.0	23.3	0.5	113.2
本人と子と孫の世帯	2.2	1.1	-	10.1	25.8	1.1	113.5
その他	1.9	-	1.0	10.6	23.1	1.9	109.6
【健康状態別】							
良い	3.0	1.8	-	12.7	31.3	1.8	114.5
まあ良い	0.8	1.6	0.8	9.4	31.5	0.8	113.4
普通	2.4	1.8	1.8	11.4	25.7	2.4	112.6
あまり良くない	-	-	1.3	6.6	14.6	2.0	113.9
良くない	2.2	-	-	2.2	8.7	-	106.5
良好（計）	2.0	1.7	0.3	11.3	31.4	1.4	114.0
不良（計）	0.5	-	1.0	5.6	13.2	1.5	112.2